

JA当麻

JANUARY
2025

1

Vol.651

TOHMA

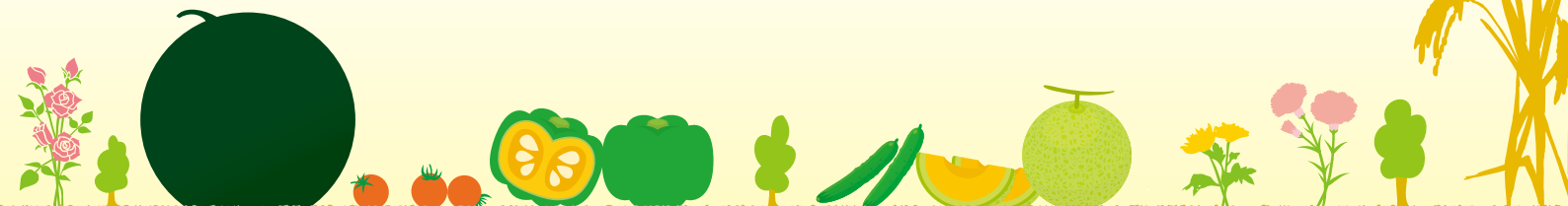


新春を迎え組合員皆様のご多幸を
お祈り申し上げますとともに本年も何卒宜しく
お願い申し上げます。

令和7年 元旦

魅力ある当麻農業の更なる発展へ

- 新春挨拶2
- 組合のあゆみ10
- 新たな若い力に町をあげてエール
令和6年度 新規担い手就農者を祝う会開催11
- JA当麻青年部70周年記念旅行12
- 当麻町そ菜研究会・当麻町花き生産組合
各部会定期総会及び作況反省会13
- 当麻町花き生産組合
第65事業年度定期総会及び全体作況反省会14
- 当麻町そ菜研究会
第59事業年度定期総会及び全体作況反省会15
- JA当麻役員研修16
- 足あと17
- 金融共済課からのお知らせ22
- 融資相談課からのお知らせ24
- 令和7年度 JA当麻野菜集荷場受入カレンダー25
- みんなの広場26
- JATOHMA information28





令和七年の年頭にあたり

当麻農業協同組合 代表理事組合長 福井 幸司

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。また、日頃より当組合事業に特段のご理解とご協力を賜っておりますに、役職員一同感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年度の当麻農業を振り返りますと、春先から天候に恵まれ順調に営農を開始することが出来ましたが、近年の恒常的な夏場の高温に加え、七月の観測史上最多を記録した集中豪雨により農作物に被害が生じ、日本全国において突発的に発生しております地震や洪水など自然災害は他所事ではないと感じる次第であります。この様な気象状況下、組合員の皆様は栽培管理に大変ご苦勞の多い年であったと存じます。しかしながら、長年にわたり培ってきた技術や経験、農作物生産に対する日頃のご努力により、時期や品目差はありますが、安定して農産物を収穫・出荷いただきました事に敬意を表する次第であります。

農産物の状況としまして、水稲では収穫前に全国各地で米の在庫不足「令和の米騒動」となり、過去にないほど米の価格が高騰しました。米の作況指数は北海道が『一

〇三』上川管内においては『一〇四』のやや良の豊作傾向となり、品質については低蛋白米比率の高い良食味米

生産となりましたが、集荷実績についてはカントリーエレベーター、玄米バラ化施設を併せ十七万六千俵の出荷に留まりました。園芸作物のそ菜につきましては、販売総額が初の十五億円を超え、きゅうりが八億六千万円、ミニトマトが四億円と共に過去最高の販売実績となり大変喜ばしく感じております。今年度においても取引先より多くの出荷を要望されておりますので、販売拡大に向け組織と共に検討をしてまいりたく存じます。花き類においては円高等の影響から国内産需要の引合いが依然と強く、需要期には高単価で販売ができたことにより、一億五千万円の販売実績となりました。生産コストの高止まりから厳しい農業経営が続いている現状にありましたが、各農作物への価格転嫁が実感できた結果により、当麻農業の特色である複合経営の水稲、園芸作物、畑作物、全てにおいて生産所得向上となる成果となり、最良の一年であり今年度の生産意欲に繋がるものと感じております。ご出荷いただいた組合員皆様の一円集荷へのご理解ご協力を賜りました事に改めてお礼を申し上げます。

賀 春

本年もよろしく
お願い申し上げます。

代表理事組合長	福井 幸司
専務理事	坂下一 登
理事	豊田 孝行
理事	紺屋 友良
理事	佐藤 孝
理事	石田 信也
信用担当理事	住田 昌之
代表監事	林 唯晴
員外監事	内海 敬裕
監事	山村 伸二
参事兼管理部長	田中 景子
営農部長	田所 与幸



産地としては生産で終わりではなく、新鮮な農産物を消費地へ供給することも大事な責務であります。報道にて多く取扱われました物流の「二〇二四年問題」に適応する必要があり、生産組織を中心に集荷体制へご理解と、関係機関のご協力から円滑な輸送体制へと繋げることができ、当地が年間を通して農産物を消費地へ安定して届けたことによる取引先からの信頼は厚いものであります。選ばれる産地となるため選果から出荷までのよりスムーズな体制整備、施設整備の検討をしまいにたく存じます。

農業を取り巻く環境は一段と厳しさを増し、世界的な気候変動による猛暑や豪雨などによる各作物の収量および品質の低下、国際的な食料需給事情の変化や急激な円安の進行からの物価高等による生産資材の高止まりと、農業経営には甚大な影響を与えて続けております。昨年は農政の憲法とも言われる食料・農業・農村基本法が改正され、国民一人一人の食料安全保障の確保と環境と調和のとれた食料システムを基本理念として位置付けられるなど、世界の食料需給の不安定化による輸入リスクの増大、環境問題等を踏まえ、日本の農政は大きな転換期を迎えております。北海道農業が担う役割は大きく、気候や経営規模等の優位性を活かせるこの地は農業にとつて好転期であり可能性に満ちております。

当組合としては、持続可能な農業の実現や、次世代へつなぐ魅力ある当麻農業の実現に向けて、昨年より取り組んでおります第十五次地域農業振興三ヶ年計画・農協

経営三ヶ年基本計画にて耕作面積の維持・拡大、所得向上と持続的営農、省力化、物流や労働力の確保などを掲げております。農家戸数減少からなる今後の課題がありますが、生産組織との「対話」と「連携」のもと実践し、相互扶助の精神を原点に組合員皆様と共に将来を見据え、JAとしての役割を果たすため、安定した経営基盤を維持し、魅力ある当麻農業の更なる発展の一助となるよう各関係機関と連携を図りながら営農支援からなる農業振興に努めてまいります。

本年も天候に恵まれ、実り多い豊稔の一年になりますことと、組合員の皆様のご健康で幸多い年になりますことをご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。



謹賀新年

本年もよろしく
お願い申し上げます。

当麻町米麦改良協会 会長	福井 幸司
当麻米産地形協議会 会長	日下部 裕一
当麻町そ菜研究会 会長	開田 厚志
当麻町花き生産組合 組合長	土井 清司
当麻町稲作研究会 会長	長谷川 新
当麻町「トリ」利用協議会 会長	羽根 敏
当麻町水稲防除連絡協議会 会長	真鳥 修一
当麻町認定農業者協議会 会長	井上 雅司
当麻町農業法人会 会長	宮嶋 一洋
当麻町畑作経営協議会 会長	太田 弘
当麻町牧草生産部会 部長	田中 信幸
当麻町農業税対協議会 会長	佐々木 康二
当麻町水田転作生産部会 会長	石田 信也
当麻町作物生産者連絡協議会 会長	石田 一光



令和七年の年頭にあたり

当麻町長 村 椿 哲 朗

新年あけましておめでとうございます。
組合員の皆様におかれましては、令和七年の新春をご健勝のうちにお迎
えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、石川県能登半島地震の発生、日本航空機と海上保安機の衝突事
故と心が痛む年明けとなりましたが、当麻農業を顧みますと、春先の融雪
は平年並みで、融雪後の気温が高く経過するなかで営農のスタートを迎え
ました。農作物の生育時期は天候に恵まれ順調に進みましたが、夏場は連
日の猛暑や台風による大雨や強風の影響を受け、大きな被害に遭うなど農
作物の管理に大変ご苦労された年だったとご推察申し上げます。

水稲につきましては、北海道農政事務所より上川管内の作況指数は「一
〇四」と発表され、当麻町においては台風による大雨や強風で倒伏するな
どにより収穫量の減少が心配されましたが平年よりやや多く、品質は昨年
よりタンパクは低く、高温により発生する白未熟粒や胴割れもほぼ無く概
ね良質で、「上川地区ゆめぴりかコンテスト二〇二四」においては、二年連
続で金賞を受賞されたとお聞きし、生産者皆様の日頃の並々ならぬご努力
に改めて敬意を表すところであります。

そ菜につきましては、七月の台風による大雨でハウスが浸水する被害や
高温により出荷量が減少するなかでも、安心安全な農産物を生産すること
に努め、市場との信頼関係を基にした販売面での取り組みを行い、前年を
上回る十五億円を超え過去最高額の販売額を残されました。特に「キュウリ」
では二年連続となる販売額八億円を達成され、更にミニトマトにおいては
初めて四億円を超えるなど、生産者皆様のご努力の賜物と心から敬意を表
するところであります。

花きにつきましては、販売面ではこれまで「大雪の花」ブランドの評価
を守り続けてこられたことで市場からの信頼も厚く、販売額は、円安の影
響で輸入品が減少し価格が高値で推移したこともあり、一億五千万円を残
されました。これも生産者皆様の長年に渡り品質向上にかけてきた研鑽に
心より敬意を表すところであります。

町がふるさと納税として取組んでおります「まちづくり寄付金」も、今
年度におきましても全国の皆さんから非常に多くのご寄付をいただきまし
た。これもひとえに組合員皆様が丹精込めて生産する農産物に、全国の方々
が大きな魅力を感じていただいているものと捉えております。

「三育」の大きな柱の一つ「食育」としての取組みである田んぼの学校に
つきましては、秋の稲刈りは悪天候が予想され残念ながら中止せざるを得
ませんでした。春の田植えは子供達の手で実施することができました。
本年も子供達と町民皆様が笑顔とともに「命をいただく大切さ」を共有で
きることを強く願っています。

世界情勢の不安定さにより燃油価格が高止まりし続ける影響で、農業資
材などの価格高騰は長期化するなど日本農業を取り巻く環境は、依然とし
て厳しく予断を許すものではありません。当麻町としても担い手の高齢化
や農業力不足に備えるべく、GPS技術を活用した自動操舵機や自動給水装
置などのスマート農業の推進や、野菜・花き栽培の土台となるハウス導入、
ミニトマトとキュウリの隔離栽培導入に対して、当麻農協と共に支援を続
けてまいります。

産地間の厳しい競争に勝ち抜くため、当麻農業が持続的発展を果たすた
めに、常に先見の目を持ち、農業機関との連携をさらに密なるものとし、
当麻農協をはじめ各関係機関と足並みをしっかり合わせ、課題に向き合っ
てまいります。

先人たちの苦労と努力に想いを巡らせ、誰もが安心して暮らせるまちづ
くりと、町民のみなさんの夢や希望を実現できるよう、創意工夫を凝らし
た施策を展開し、次世代に誇れるまちづくりに努めてまいります。

最後になりましたが、本年が災害のない一年でありますことと、組合員
の皆様にとりましてご健康で幸多い年となります様ご祈念申し上げます。年頭
のご挨拶といたします。



令和七年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 代表理事会長

樽井 功

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも早く進んでおりました。しかしながら、夏場は猛暑・豪雨による記録的な高温多湿の影響を受け、各作物等の収量および品質に影響が出た年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の変化、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが農業経営に甚大な影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。

昨年には、四半世紀ぶりに食料・農業・農村基本法が改正され、現状に即した基本理念の見直しと、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」等の実現が盛り込まれました。政府は、初動五年間を農業構造転換集中対策期間と位置づけ、施策を集中的に実行するとともに、今年三月に食料・農業・農村基本計画を策定するべく引き続き検討を進めております。

J Aグループ北海道としては、食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立のために、農地の確保および適正利用の強化、食料・自給飼料等の安定生産・供給と環境負荷軽減の両立に取り組みながら、それを後押

しする力強い政策支援を求めていくことが重要と考えております。

また、昨年は第三十一回 J A北海道大会が開催され、「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」、「J Aの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立」、「アグリアクション北海道の推進による農業・食・J Aへの理解醸成」の三つの議案を決議いたしました。

今後、議案の達成に向けて、組合員・J A・連合会が一丸となって、生産現場の行動変容と組合員の意思結集による農政運動、J Aの経営管理の高度化やデジタル化の推進による業務効率化・生産性向上に取り組みでいかなければなりません。

さらに、消費者の皆様には、J Aグループ北海道統一の情報発信のフレーズである「アグリアクション北海道」を浸透させるとともに、効果的な情報発信により、今まで以上に農業・食・J Aに対する理解を深めていただき、J Aグループが提唱する「国消国産」の認知を広めてまいります。

結びになりますが、本年は巳年です。巳（へび）は冬眠から目覚め地上に這い出すことから、冬に根をはった草木が芽を出し「新しい種子が生まれる」という意味があると言われ、転じて、巳年は力を蓄えていたものが芽を出す「起点」の年、脱皮する特性と併せ「再生と誕生」を意味する年だと言われています。

この謂われにあやかり、本年が北海道農業の飛躍の起首となること、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



令和七年の年頭にあたり

当麻町農業委員会 会長 住田 哲也

新年、明けましておめでとうございます。

組合員の皆様並びにご家族の皆様におかれましては、ご健勝のうちに令和七年の新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より農業委員会の活動につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、当麻農業を振り返りますと、七月の大雨により一部浸水被害を被ったという残念な出来事もありましたが、水稲につきましては概ね順調な生育によりまして作況指数は「一〇四」となり、米価の上昇も相俟って豊穡の出来秋となったものと感じております。

青果物は春先の道外産との円滑な切り替えによる安定した価格、夏場の全国的な品薄傾向による好調な販売、秋には更なる高単価で推移したとお伺いいたしました。

花きにつきましては、初夏の菊類の価格下落を乗り越え、お盆・彼岸時期には例年にはない高単価での販売となったことをはじめとして、一年を通して安定した出荷をされたとお聞きいたしました。いづれにつきましても組合員皆様の日頃の弛まぬ努力、高度な生産技術に感服する次第であります。

また当麻農協職員の方々をはじめ関係機関の支援・連携体制に心より敬意を表するところであります。

昨年十一月に農協・町・農業委員会により開催させていただきましたきました新規担い手就農者を祝う会におきまして、一名の新規就農者と二組の新婚農業者をお祝いさせていただきました。大変うれしく感じるとともに、当麻農業の担い手としての今後のご活躍を心よりご祈

念申し上げます。

生産資材や燃料・物流費などの値上げに歯止めがからない事など、依然として農業を取り巻く状況は厳しいものがございますが、我々農業者が国民の食生活を支えているとの誇りを持ち続け、消費者へ安全・安心で安定的な農産物の供給をしていかなければなりません。

私たち農業委員会は、許可申請や届出をいただきました案件につきまして慎重かつ公正な審議をさせていただきます。農地の有効利用や担い手の育成・確保、農地等の利用の最適化を積極的に推進するとともに、優良農地を次世代へ引き継ぎ守ること、担い手への農地の集積・集約化、新規就農者への相談対応等に真摯に取り組んでいるところではございますが、今後におきましても組合員皆様のご指導はもとより、行政・各農業関係機関のご協力を賜りながら委員一同、より一層当麻農業の益々の発展に尽力していく所存でございますので、今後とも変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。

結びに、本年が自然災害などなく、稔り豊かな一年になりますよう、併せて組合員皆様とご家族のご健勝、ご多幸を心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

賀 春

本年もよろしく
お願い申し上げます。

—当麻町農業委員会—

会 長	住田 哲也
会長職務代理	佐々木 康二
委 員	窪 郁夫
委 員	木下 和夫
委 員	荒川 敏幸
委 員	杉山 紀幸
委 員	池澤 弘道
委 員	福田 はるみ
委 員	紺屋 友良
委 員	菅野 安男
委 員	高橋 裕一
委 員	藤中 敏彦
委 員	田中 信幸



新年にあたって

上川農業改良普及センター 所長 山本 正 浩

新年明けましておめでとうございます。年頭に当たり当麻農業協同組合の組合員とご家族のみなさまに謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、平素より農業改良普及センターの活動に対し、ご理解とご協力いただいております。心より感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、融雪期は平年並でしたが、その後は日照時間も多く、気温も高い日が続き、春作業は概ね順調に進みました。

水稲は五月下旬から六月上旬は低温・寡照により、同時期に移植した苗は分けつの発生が遅れました。茎数不足が心配されましたが、六月中旬から天候が回復し、茎数・穂数とも平年並となりました。登熟期間は高温でしたが、心配された白未熟粒の発生は少なく、品質は平年並、作況指数は一〇四のやや良（農政事務所十一月十九日公表）となりました。

麦類は融雪期が平年並だったため起生期も平年並で、穂数は平年並となりました。赤さび病の発生が見られましたが、適切な防除によって影響は最小限に止められました。高温により開溝未熟粒の発生が懸念されましたが、品質は並くやや良でした。収量は地域やほ場差はありましたが過去最高レベルの地域があるなど良好でした。

豆類は、は種・出芽とも平年並でしたが、は種時期が遅い地域では土壤水分不足により出芽が遅れました。その後は生育も順調で、着莢数は平年を上回るとともに、適期に収穫ができ収量・品質ともに良好でした。

園芸品目では高温の影響が見られ、主なものでは果菜類の生理障害（落花）や日焼け果、ほうれんそうの出

芽不良が発生しました。また、害虫ではハダニ類、アブラムシ類、アザミウマ類の発生が多く、一部被害がありました。

このような条件下でも、ほとんどの作物で収量・品質は平年並の結果となりました。昨年暑く夏でしたが、これだけの成果を残せたのは、基本技術の励行と、厳しい気象環境に対応し、新たな技術を導入するなど、柔軟な対応によってもたらされた結果であり、生産者や当麻農業協同組合役職員のみなさま、関係者各位の尽力に敬意を表します。

さて、令和の時代に入ってから、ほぼ毎年のように高温対策に悩まされてきました。ここ十年を振り返っても暑い夏が頻発しているのはみなさまも肌で感じていることと思います。令和六年は農産物価格も上がり、資材費の高騰は留まることを知りません。また、日本の人口は減少の一途ですが、人の手で行わざるを得ない作業もまだ多く、スマート化ばかりを頼りにできません。資材費の高騰については現在の生産体系など見直し、ムダやムラを最小限にしておくことや、限りある資源の地域内循環を積極的に取り入れることが重要です。労働力の確保については個人での対応に限界があり、省力化技術の導入と組織的な労働力確保を並行して取り組むことが急務と考えます。

普及センターとしてもみなさまと一緒に考え、地域の活力向上に繋がる支援を続けてまいります。今後もお気軽にご相談ください。

今年もみなさまがご健勝で営農し、豊穡の秋を迎えられますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

謹賀新年

上川総合振興局
上川農業改良普及センター

所 長 山本 正 浩
次 長 松 浦 準
主任普及指導員 若 宮 貞 人
主任普及指導員 上 田 朋 法

地域第二係(当麻町担当)

係 長 白 井 淳
主 査 田 中 理 恵
主 査 草 野 裕 子
専門普及指導員 野 原 弘 義
専門普及指導員 堀 田 ひとみ
専門普及指導員 平 川 直 人
専門普及指導員 井 村 直 樹
普及指導員 道 畑 乃 映



新年のご挨拶

JA当麻青年部 部長 井上 雅 敬

新年あけましておめでとうございます
皆様におかれましては令和七年の新春を健やかに迎
えられたこととお慶び申し上げます。

また日頃より、当青年部活動に対しまして、各関係
機関の皆様より多大なるご理解とご協力を賜り厚く御
礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、降雪量は少なく温暖な日
続いたことにより圃場の融雪は進み、春作業は順調に
行われたものと感じております。水稻に於いては、日々
変わる天候の中ではありますが、順調に生育は進みま
した。移植後も概ね順調な生育となり草丈・茎数・穂
数ともに平年並みであり、登熟期間は高温傾向ではあ
りましたが徹底した水管理を行ったことで良好に推移
し、上川管内の水稻作況指数は「一〇四」と豊穰の出
来秋となりました。

青果・花き類につきましては、春先は天候に恵まれ
ましたが、四月は一部、天候不良により厳しい初期生
育となりました。五月以降は徐々に天候が回復しまし
たが、強風が吹く日が多かったことや猛暑日もあり栽
培管理に大変苦勞の多い年であったものと感じており
ます。青果物全体では収量は平年を下回る品目が多か
ったものの、一年を通して安定した価格が続いたこと
から十五億円を超えた販売実績となりました。花き類
につきましても、円安の影響で国内産の需要が高まり、
高価格で推移したことで一億五千万円の販売実績とな
りました。

青年部事業としましては、農協機械銀行事業と連携
し乾田促進に向けた融雪材散布作業の実施や青年部員

の知識向上に向けた営農勉強会の開催、直播ドロー
ン播種圃場や施設園芸作物普及に向けた現地研修会の開
催、当麻農協の若手職員との交流会を開催し親交を深
めました。また、当麻町稲作研究会との合同視察研修
では札幌市の北海道農業研究センターを訪問し水稻試
験品種育成圃場の視察や、上青協並びに上女協の合同
事業としてJA当麻女性部と農産物消費拡大に向けた
レシピア作成を実施いたしました。更には当麻神社祭で
の御神輿担ぎや蟠龍祭りでの出店など部員同士の交流
のみならず、当麻農業、当麻町の更なる発展のために
活動を行ってまいりました。

当青年部は昨年創立七十周年の節目を迎え、記念式
典を挙行いたしました。七十周年の節目を無事迎える
ことができたのも当麻農協をはじめとした各関係機関
の皆様のご指導ご鞭撻があつてのものと感じておりま
す。これからも高品質な農産物を生産していきけるよう
各種研修会への参加や勉強会を行うほか、諸先輩方か
ら引き継いだ伝統を次の世代へと継承し、当麻農業・
当麻町のさらなる発展のために事業運営に努めてまい
ります。

最後になりますが、青年部員や各関係機関の皆様
より一層のご理解とご協力をお願い申し上げますこと
に皆様のご健勝と豊穰の出来秋を迎えられますことを
ご祈念申し上げます。

賀 春

— JA当麻青年部 —

部 長	井上 雅 敬
副 部 長	日下部 涉
副 部 長	太田 貴 仁
代 表 監 事	三 島 知 浩
監 事	菅 野 有 祥
総務委員長	山 田 洋 暉
総務副委員長	広 富 周 司
水稻委員長	岸 山 誠 人
水稻副委員長	水 野 雄 貴
施設園芸委員長	辻 和 博
施設園芸副委員長	山 下 裕 介



新しい年に

JA当麻女性部 部長 広富 美恵子

新年明けまして、おめでとうございます。
令和七年の新春を皆様と共に迎えられた事を心からお喜び申し上げます。

また、日頃より女性部活動には、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、春先は好天に恵まれ順調に作業が進みましたが、七月の大雨により一部浸水被害を受けた圃場もあり、栽培管理には大変苦勞の多い年でありました。水稲につきましては、作況指数が上川管内で「一〇四」と公表され豊作傾向となり、価格についても在庫不足等により過去に例のないほどの高値となりました。園芸品目につきましても一年を通して安定した価格となり当麻農業が取り組んできた複合経営が最良の結果となった一年であったと感じております。

女性部活動としましては、昨年に引き続きミニトマト栽培講習会の開催や道外視察研修として千葉県の種苗会社を視察させていただき作付け推進に努め、また、JA上川地区女性協議会行事への参加や社会貢献として当麻柏陽園のシート交換のボランティア活動、環境美化運動として開明、伊香牛地区の花壇作り、町内の清掃活動を継続して行ってまいりました。部員の皆様

には各種活動にご参加、ご協力いただきましたことに改めて感謝とお礼を申し上げます。

女性部運営において部員の減少や高齢化などの課題があり、行事への参加人数も少なくなってきたこと、今後の在り方について考えなくてはならないと感じておりますが、部員の皆様が充実し有意義な時間を過ごせる活動内容を企画し、農業に携わり多忙な日々の中でも、皆様の憩いの場でありリフレッシュの場となるよう努めてまいります。

最後になりますが、農業を取り巻く環境は、世界的な猛暑や豪雨、さらには急激な円安の進行による生産資材の高止まりなど大変厳しい状況が続いておりますが、豊穰の秋をまた迎えられるよう日々努力し、本年においても部員の皆様とご家族が健康で笑顔が溢れ、素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

あけまして
おめでとうございます。

—JA当麻女性部—

部長 広富 美恵子

副部長 角谷 みか

監事 亀田 敦子

理事 今橋 祐美

理事 豊田 美記江

理事会報告

EXECUTIVE BOARD
次の事項が審議され提案通り承認されました。

第31回理事会

令和6年11月28日

- 議案第1号 令和6年度10月末収支見直しについて
- 議案第2号 令和7年度営農計画作成基準及び審査方針・審査基準について
- 議案第3号 普通送金の取扱廃止等を踏まえた信用事業方法書の変更について
- 議案第4号 臨時職員就業規則の一部改正について
- 議案第5号 就業規則の一部改正について
- 議案第6号 人事規程の一部改正について
- 議案第7号 給与規程の一部改正について
- 議案第8号 組合員の異動について



組合のあゆみ

11月

- 4 道北地区専務会視察研修（7日迄 専務）
- 8 第6回上川地区農協組合長会役員会
（J A上川ビル 組合長）
新規担い手就農者を祝う会（大ホール 常勤）
- 12 上川地区農協監事協議会 道外視察研修
（15日迄 北陸方面 監事団）
- 15 上川生産連 第5回理事会（J A上川ビル 組合長）
北海道クミアイ自動車学校理事会（//）
- 20 第31回J A北海道大会（札幌市 役員）
東野ひでき君を励ます会in北海道（札幌市 役員）
- 21 食料の安全保障の強化と持続可能な北海道農業に関する
中央要請（22日迄 東京都 組合長）
- 22 農産物集荷報告会（大ホール 役員）
- 23 秋季大祭 新嘗祭（当麻神社 組合長）
- 28 第31回理事会
- 29 当麻町花き生産組合定期総会及び作況反省会
（大会議室 専務・信用担当理事）

組合のあゆみ

12月

- 2 当麻町そ菜研究会定期総会及び作況反省会
（大会議室 常勤）
- 3 役員視察研修（5日迄 東京方面 役員）
- 5 上川地区農協監事協議会代表者会議
（J A上川ビル 代表監事）
- 6 第16回監事会
第21回当麻町農業税対協議会定期総会
（大ホール 専務）
- 当麻町水稻防除連絡協議会定期総会（大会議室 専務）
- 11 上川中央部農協連絡協議会 冬季研修会（旭川市 常勤）
- 12 当麻町施設園芸ヘルパー利用組合定期総会及び創立20周年
記念祝賀会（大会議室・大ホール 常勤）
- 13 11月末定期監査（19日迄 監事団）
上川生産連 第6回理事会（J A上川ビル 組合長）
北海道クミアイ自動車学校理事会（//）
- 17 北海道農協畑作・青果対策本部委員会（札幌市 組合長）
- 27 第32回理事会

11月9日 令和6年度 新規担い手就農者を祝う会開催 ～農業関係者約50名が新たな門出を祝う～

当麻町、当麻町農業委員会、JA当麻の3団体が主催となり、新規担い手就農者を祝う会が農協3階大ホールにて開催され、農業関係者約50名が出席する中、今年度、当麻町で新規就農された方と新婚農業者を激励いたしました。

主催者を代表して村椿町長より、「若い農業者の力が当麻町の農業に加わることをとても感慨深く思っております。当麻町は農業だけではなく、林業や商工業に皆さん一丸となって盛り上げようと力を合わせています。このオール当麻の力を推進力に頑張っておりますので、皆さんをフルサポートできるように組織をぜひご活用していただきたいと思っております。」と挨拶。福井組合長から「農業は天候相手の仕事で大変厳しい仕事でございます。厳しい難局を乗り越えるために、人と人のコミュニケーションを大事にさせていただいて、諸先輩方、組織、地域の皆さんから情報をいただきながらしっかりとした農業経営をしていただきたいと思っております。農協としても皆さんの収益向上に向けて、少しでも良い農業経営ができるよう最大限のバックアップをしていきたいと思っておりますので、楽しんで励んでいただきたい。」とエールを送りました。

また、当麻町議会澤田副議長、JA青年部井上部長よりお祝いの言葉が贈られ、JA北海道中央会などJAグループ団体からの激励状、主催3団体から記念品が贈呈されました。

新規担い手就農者は、「意欲的に農業に取り組み魅力ある当麻農業にしていきたいと考えております。」とお礼が述べられました。



新規就農者
新婚農業者

羽根有哉さん
小林靖典さん・真由さん
開田将伍さん・莉子さん

新規就農者

はね ゆうや
羽根有哉さん (中央4区)

主要栽培作物：水稻、そば

今後の抱負：

高校や大学での経験を活かし早く一人前になれるよう一生懸命頑張ります。
ご指導よろしくお願ひいたします。



新婚農業者

こばやし やすのり ま ゆ
小林靖典さん 真由さん (開明2区)

主要栽培作物：水稻、胡瓜

今後の抱負：農業者人口が減り続けるなか、困難も多いと思ひますが二人で幸せな家庭が築けるよう頑張ります。
今後ともよろしくお願ひいたします。



新婚農業者

かいた しょうご り こ
開田将伍さん 莉子さん (宇園別2区)

主要栽培作物：水稻・胡瓜・大豆

今後の抱負：日々農業について勉強中ではありますが、恐れることなく挑戦しながら頑張っていきたいと思ひます。
また、地域貢献も含め当麻町を支えていける農業者になりたいです。





11月20日 第31回JA北海道大会

第31回JA北海道大会が札幌市にて開催され役職員あわせて11名が参加しました。JA北海道大会は3年に1回開催され、道内各地のJA、联合会等の関連組織が集結し、現地・ウェブ参加を合わせて3,000名での開催となり「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」「JAの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立」「農業・食・JAへの理解醸成」の議案が上程されました。上程後の意見表明では大会開催要領にもとづいて選考が行われ福井組合長が意見表明をされました。

当JAでは、持続可能な農業と次世代へつなぐ魅力ある当麻農業の実現に向け、組合員皆様との『対話』を重視し、取り組んでまいります。



11月25日～28日 当麻農協青年部創立70周年記念研修

当麻農協青年部で昨年2月に創立70周年を迎え、青年部員13名が出席して70周年記念研修を実施させていただきました。

記念研修では、大阪府の関西スーパーマーケットを視察し、青年部員も利用するカントリーエレベーターで乾燥・調整・精米された「籾貯蔵今摺米きたくりん」が実際に販売されている現場を間近で見ることができました。次年度以降の水稻栽培においても、消費者が求める安全・安心な水稻栽培に向けて努力していかなければならないと強く感じました。

記念研修の中では、部員同士の懇親も深まり、これからの当麻農業の維持・発展に向けて数多くの意見交換を実施することができたものと感じております。

当麻農協青年部はこれからも10年、20年と歴史を刻み、当麻農業の担い手として活躍していくためにも、青年部員同士の交流を深め、困難に対してはともに乗り越えていけるような人間関係を築いていけるよう今後も組織運営を行ってまいります。



当麻町そ菜研究会・当麻町花き生産組合 各部会定期総会及び作況反省会

当麻町そ菜研究会、花き生産組合各部会の定期総会及び作況反省会に、多くの部会員の皆様にご出席をいただきました。

つきましては、今年度の各品目の販売実績を掲載いたします。

令和6年度野菜販売実績

11月末現在

品 目	総販売額（千円）	前年比	出荷重量（kg）	前年比	kg単価（円）
キ ュ ウ リ	869,082	106%	2,723,933	90%	319
ミ ニ ト マ ト	407,486	120%	540,726	111%	754
で ん す け す い か	178,436	100%	380,748	97%	469
メ ロ ン	9,167	108%	15,407	93%	595
南 瓜	13,027	105%	51,923	87%	251
菜 豆	3,109	93%	2,930	79%	1,061
葉 菜	14,069	87%	28,129	78%	500
そ の 他	9,600	100%			

令和6年度花き販売実績

11月末現在

品 目	総販売額（千円）	前年比	出荷本数（本）	前年比	単価（円）
菊	94,888	91%	1,162,350	94%	82
カ ー ネ ー シ ョ ン	17,250	71%	293,573	68%	59
バ ラ	20,902	89%	142,801	87%	146
草 花	11,148	101%	213,081	99%	
そ の 他	7,986	84%			

【各部会役員名簿】

各部会定期総会にて、役員の前任期満了に伴う役員改選が行われましたので、新役員をご報告いたします。

【でんすけ部会】	【トマト部会】	【南瓜・メロン・葉菜豆部会】	【キュウリ部会】
部 会 長 宇園別2区 伊林 和彦 副 部 会 長 中央1区 高橋 利文 中央4区 日下 美樹	部 会 長 伊香牛2区 赤木 宏志 副 部 会 長 北星3区 菅野 史昭 宇園別1区 佐藤 貴彦	部 会 長 北星2区 天野 充博 副 部 会 長 宇園別2区 辻 和博	部 会 長 宇園別3区 齋田 浩二 副 部 会 長 開明2区 美頭 勇二 東1区 高橋 佳靖



11月29日 「安定した信頼のおける産地」を目指して 当麻町花き生産組合 第65事業年度定期総会及び全体作況反省会



挨拶をする土井組合長

農協3階大会議室にて当麻町花き生産組合第65事業年度定期総会及び全体作況反省会が開催されました。

開会冒頭、土井組合長より「ここ数年の組合員数と栽培面積の減少、コスト高で厳しい一年となりましたが、昨年並みの高単価で終えることができました。これは、農協と各市場の関係の強さ、そして生産者皆様と関係機関との力の結集によるものだと思っております。来年度も皆様の力を結集すれば、必ず良い1年になると思っておりますので、ご協力をよろしくお願いたします。」と挨拶。

次に、坂下専務、室屋副町長からの来賓祝辞の後、定期総会議事にて令和6年度事業報告、令和7年度

事業計画（案）について審議され、役員改選では土井組合長の留任を含む新執行体制が決まりました。

引き続き行われた全体作況反省会では、事務局より今年度の販売実績の説明があり、札幌花き園芸(株)若松部長、(株)なにわ花市場 栗林取締役営業副本部長より今年度の販売情勢について報告がなされました。

終了後に行われた全体懇親会では、今年度の花き栽培管理努力により高品質な生産・安定的な出荷を行い優秀な成績を取めた生産者に表彰が行われ、土井組合長より表彰の盾が贈呈されました。



表彰者の様子

最優秀賞 比布町 太田 茂 様

『花き栽培において栽培管理努力により高品質な生産を行い安定した出荷に努め、出荷量及び秀品率において極めて優秀な成績によるものです。』

優秀賞 伊香牛1区 坂本 拓生 様

『花き栽培において栽培管理努力により高品質な生産を行い安定した出荷に努め、出荷量及び秀品率において優秀な成績によるものです。』

功労賞 中央2区 西 重隆 様

『多年に渡り高品質かつ安定的な菊類の生産に尽力され組織発展に大きく寄与されたものです。』



新役員

組合長	伊香牛2区	土井 清司	理事	中央6区	弘中 幸男	監事	中央4区	小林 政夫
副組合長	緑郷1区	大泉 貴文		伊香牛2区	赤木 宏志		比布町	太田 茂
	中央2区	畠山 譲		比布町	勝見 宏彰			

12月2日 青果物総取扱額16億円を目標に 当麻町そ菜研究会第59事業年度定期総会及び全体作況反省会



挨拶する開田会長

農協3階大会議室にて、当麻町そ菜研究会第59事業年度定期総会及び全体作況反省会が開催され、そ菜研究会員、各関係機関担当者など約60名が出席されました。

始めに開田会長より「今年度は生産者の皆さんと農協、各市場、各関係機関のご協力で過去最高の売上を記録し、大変喜ばしく思っているとともに誇らしく思っております。昨年ほどの猛暑はありませんでしたが、7月の大雨といった天候に左右され、生産者の皆さんのご努力があった1年だったと思います。今後も市場への安定供給に向けて、役員、会員一丸となって盛り上げていきたいと思っております。」と挨拶。

続いて、令和6年度優秀出荷者の表彰が行われ、各部会品目において優秀な出荷成績を収められた生産者へ表彰の盾が贈呈されました。

次に来賓を代表して、福井組合長、村椿町長より祝辞をいただき、議事では令和6年度事業報告、令和7年度事業計画(案)について審議され、役員改選では全役員が留任となり、今年度の活動がスタートいたしました。

総会終了後行われた全体作況反省会では、事務局より今年度の各部会実績報告のあと、ホクレン旭川支所青果課 今村調査役、札幌みらい中央青果(株) 勇崎次長、大果大阪青果(株) 岩田課長より情勢報告が行われました。



作況反省会の様子

キュウリ部会	最優秀賞 宇園別3区	齋田 幸宏 様	
トマト部会	最優秀賞 宇園別1区	佐藤 貴彦 様	
でんすけ部会	最優秀賞 中央3区	楠木 敏明 様	
南瓜・メロン・葉菜豆部会	「南瓜部門」	最優秀賞 中央3区	楠木 敏明 様
	「メロン部門」	最優秀賞 開明2区	(株)美頭農園 様
	「葉菜部門」	最優秀賞 宇園別1区	佐藤 貴彦 様
	「菜豆部門」	最優秀賞 伊香牛1区	今橋 淑子 様

新役員	会 長	宇園別2区	開田 厚志
	副 会 長	宇園別2区	山田 雅夫
	監 事	緑 郷3区	川上 裕一
		中央2区	真鳥 修一
		宇園別3区	齋田 幸宏



表彰者の様子

JA当麻役員研修

日 程 令和6年12月3日～12月5日迄

視察先 東京都

12月3日から12月5日迄の日程にてJA当麻役員研修が開催されました。

研修先であるホクレン農業協同組合連合会東京支店では、北海道農業の発展のため、生産地における声にしっかりと耳を傾け、消費地における環境変化を正確に捉え価値を創出し、北海道農業の強み・魅力を最大限に発揮できるよう取り組まれております。

研修においては、農産物の販売環境と輸送環境を中心に、現状と今後の動向について説明をいただきました。

米を巡る情勢については、収穫前に深刻な米不足が続き、令和6年産米の価格高騰によって、生産コスト増加に対する価格転嫁が実現されました。価格の高騰に伴い各店舗における販売価格も大幅に上昇し、消費量が減退した時期もありましたが、現在では少しずつ消費が戻り、消費者が抱く米が高いとのイメージは薄れつつあります。しかしながら、今後の動向には注視していく必要があり、家庭消費と業務用途における需要と供給を良好に保ち、再生産に向けた価格形成が重要であります。また、ホクレンによる北海道産米の認知度向上と需要拡大に向け、企業との連携や農業体験を通じて北海道米に愛着をもっていただけるよう活動を行っております。

物流を巡る情勢については、トラック運転手の働き方改革による2024年問題に対応するため、物流業界では輸送する荷物の種類や形態が選ばれる時代となりました。ホクレンでは、以前より北海道の農産物を全国に安定供給できるよう取り組みを進めており、生産地から消費地まで一貫してパレットで輸送を行う、一貫パレチゼーション輸送を推進し、荷役作業省力化と拘束時間短縮に努めております。加えて、中継地点の活用、納品環境の改善、システム化による事務と配車の効率化を図り、全国に向けて安定した輸送ルートを確認しております。また、今後は物流業界においても高齢化が進み、一段と輸送が難しくなることも懸念される為、持続可能な物流体制の構築に向けた取り組みを継続して実施しております。当組合でも生産者皆様のご理解とご協力のもと、拘束時間短縮に向けた集荷時間の取り組みやパレチゼーション輸送による荷役省力化を実施し、ホクレンとの連携によって輸送会社から選ばれる生産地として一年間を通じ安定して全国に農産物を供給することが出来ております。

この度の研修を経て、引き続き生産者皆様の所得向上と魅力ある当麻農業の実現に向けて、各関係機関との連携と信頼関係により、安定生産と安定した販売環境に繋がるよう役員一同取り進めてまいります。



10月17日

令和6年産米新米発表会

例年、東京にて開催されている新米発表会が今年度は札幌市にて開催されました。この会は、北海道全体が結集し、米産地北海道として将来にわたり消費地へ安定供給を図ることが目的として開催され、当組合からも米産地形成協議会役員及び青年部が参加いたしました。

イベントには、北海道米イメージキャラクターであるマツコ・デラックスさんの他、鈴木北海道知事やホクレンアンバサダーを務める森崎博之さんが登場し、新米の試食やトークセッションなどが行われ、北海道米のPRをいたしました。



11月8日

上川地区ゆめぴりかコンテスト
金賞受賞

旭川市内にて、上川地区農協米対策委員会とゆめぴりか生産販売連絡協議会、ホクレン旭川支所による「上川地区ゆめぴりかコンテスト2024」が開催されました。管内12JAがサンプルを出品し、松本米穀店代表ら7人の審査員が見た目、香り、味、粘り、硬さなどを総合的に判断し、見事、当農協が2年連続となる金賞に輝きました。

11月12日
~15日

JA女性部道外視察研修

女性部員同士の交流と親睦及び農業振興を目的に道外視察研修を開催し部員5名が参加いたしました。

㈱サカタのタネ君津育種場にてミニトマト及びほうれん草の試験圃場を見学させていただき、ミニトマトの隔離栽培での管理方法や病害虫情報、防除方法、ほうれん草のおすすめ品種についての説明を受け、担当者の話に真剣に耳を傾けておりました。女性部では初めてとなる道外への研修をさせていただき、今後の当麻農業の発展につながる研修となりました。



11月16日

メンタルヘルス研修会

JA当麻全職員を対象としたメンタルヘルス研修会が大会議室にて行われました。

北海道農業団体健康保険組合 柴田保健師を講師に迎え、今年のストレスチェックの結果とストレスをためないコミュニケーション方法について研修が行われ、「生活の中からストレスをなくすことはできません。コミュニケーションの取り方1つでストレスに繋がらなくすることもできますので、心も体も健康でお仕事をしていただきたいと思っております。」とアドバイスをいただきました。

11月18日
~21日**当麻町そ菜研究会 役員視察研修**

当麻町そ菜研究会では、近年、当地においても土壌病害による被害が発生していることから継続可能な農業を目指し、隔離栽培の情報収集や施設園芸作物推進を目的として、11月18日から21日の日程で佐賀県と茨城県での視察研修を行ってまいりました。

佐賀県では、JA伊万里市のきゅうり生産者宅圃場にて、隔離ベンチによる養液栽培で仕立て方がつる下しにて栽培されている圃場を見学させていただきました。

JA伊万里胡瓜部会の「胡青会」では、新規作付け者でも栽培しやすいつる下ろし栽培や栽培に適した環境作りのために環境制御装置を取り入れ、また、自動巻き上げを導入することでハウス管理の手間を減らし、生産規模拡大を図っているとの事でありました。

茨城県では、日本最大規模にてミニトマトを生産している「株式会社たねまき」の最先端の環境制御システムによる施設を見学させていただき、日々の栽培管理や生産への取り組みに関するお話を伺ってまいりました。

今回見学させていただいた隔離栽培等の取り組みは、今後の園芸振興につながる視察となりました。



11月22日

農産物集荷報告会

農協3階大ホールにて、生産組織代表とJA役職員による令和6年産農産物集荷報告会を開催いたしました。

冒頭、坂下専務より「販売面につきましては水稻、畑作、園芸いずれについても最良の年であったと考えております。特に水稻につきましては、過去に例がないほどの高値となりました。園芸についても、青果物全体として前年を大きく超えており、花きについても最良の成果でありました。今後も組織運営に皆様のご理解とご協力をお願いいたします。」と挨拶。各担当者より令和6年産米集荷実績及び青果・花き出荷実績の報告のあと、当麻米産地形成協議会 日下部会長の乾杯を合図に懇親会が行われ、参加者全員で1年の労をねぎらいました。



11月25日

当麻町認定農業者協議会及び当麻町農業法人会合同研修会

農協3階大会議室にて当麻町認定農業者協議会及び当麻町農業法人会合同研修会が開催されました。

講師に㈱日本農業新聞北海道支所 阪上 裕基支所長を迎え、「食料・農業・農村政策とJAを巡る情勢について」をテーマに研修が行われました。

はじめに、認定農業者協議会 井上会長より、「今日は農業情勢等お話がありますが、皆様の方からもご意見等を伺って様々な情報を共有してまいりたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。」と挨拶の後、諸資材のコスト高の現状や今後の食料安全保障、米の需給の見通し、農業に関する政局などについて研修いたしました。



12月6日

当麻町農業税対協議会定期総会

当麻町農業税対協議会では、農協3階大ホールにて第21回定期総会を開催いたしました。

始めに佐々木会長より「令和6年は、食料・農業・農村基本法の改正や税制の面でも定額減税の実施といった変化の多い1年となりました。農業全般としては、米価が上がり、税金がかかる年となることから、農家への税務調査が多く入る傾向にあるため、当協議会でも適正な処理と指導をしていきたいと思っております。」と挨拶。続いて室屋副町長、坂下専務から来賓挨拶のあと事務局より、令和5年度活動報告及び収支決算報告、令和6年度活動計画（案）及び収支予算（案）について審議され、全議案が承認されました。



12月6日

当麻町水稻防除連絡協議会 定期総会

農協3階大会議室にて、当麻町水稻防除連絡協議会定期総会が開催されました。

始めに、真鳥会長より「本年度におかれましては、収量もある程度確保できた年で、何よりも価格が非常に高く、過去に経験がない良い年となりました。収量が増えるということは、防除がしっかりとされているからだと思います。来年度もこの高い米価がどうなるかは分かりませんが、品質の良いお米を協力して作っていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。」と挨拶。来賓の坂下専務、当麻町農林業振興課 水口課長より祝辞をいただき、令和6年度事業報告並びに収支決算報告、令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について、全議案が原案通り承認されました。



12月9日

職員全体コンプライアンス 研修会開催

JA当麻全職員を対象としたコンプライアンス研修会が大ホールにて行われました。

研修会には、JA北海道中央会旭川支所 澤口監査士を講師に迎え、「部門間の情報共有・連携について」をテーマにグループワークを中心に行い、日々の業務の中で部門間の情報共有・連携について討議し、取り組み事項等について協議しました。

JAでは全役職員が関係法令や社会的規範を守り、JAの果たすべき基本使命・社会的責任に携わる者としてコンプライアンスを遵守し、一層の意識向上の徹底に取り組んでまいります。



12月10日

当麻町牧草生産部会 栽培講習会

当麻町牧草生産部会では、ヘルシーシャトーにて、栽培講習会を開催いたしました。

講習内容としましては、上川農業普及センター 野原専門普及指導員より牧草地の更新を行うことで牧草収量の増加に繋がっていくと説明があり、雪印種苗(株) 原子課長からは、牧草地に発生する雑草の対策を行うことで品質向上に繋がっていくと説明がありました。

令和7年産の栽培に向けて、収量と品質向上に繋がる有意義な講習会になりました。



12月12日

当麻町施設園芸ヘルパー利用組合 定期総会及び創立20周年記念祝賀会

当麻町施設園芸ヘルパー利用組合では12月12日、大会議室、大ホールにて定期総会及び創立20周年記念祝賀会を開催いたしました。始めに齋田組合長より「設立から20年が経過し、農業情勢は非常に厳しい状況が続いておりますが、当町においては、水稻栽培、施設園芸の複合経営を受け継がれていることにより、この厳しい状況でも農業が成り立っているものと思いますし、このヘルパー事業が20年前からあったことが当麻農業の施設園芸品目の拡大に繋がったものと感じております。生産者の高齢化や担い手不足など様々な課題はありますが、これまで以上に安全・安心・安定生産により消費者から求められる農作物に応えていくためにも、当麻町、高齢者事業団、農協をはじめとする各関係機関の連携を更に強め、組織の強化に取り組んでまいります。」と挨拶。齋田組合長を議長に議事が進められ、令和6年度事業報告並びに収支決算報告、令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)、役員改選について審議され、役員改選では執行部一任の声により齋田組合長が再任を含む新執行体制がスタートしました。

総会終了後に挙行された創立20周年記念祝賀会では、美頭副組合長よりヘルパー利用組合の設立からの20年の歩みが報告され、歴代組合長2名と当麻町高齢者事業団 傳里理事長へ感謝状が贈呈されました。続いて、坂下専務、村椿町長よりご祝辞を頂いた後、当麻町そ菜研究会 開田会長の発声により祝宴へと移り、20年の思い出を語り合い、労をねぎらいました。



新役員

組合長	宇園別3区	齋田 浩二
副組合長	緑郷1区	大泉 貴文
	開明2区	美頭 勇二
監事	東1区	高橋 佳靖
	中央6区	弘中 幸男

表彰

- ・3代組合長 宇園別2区 山田 雅夫 様
- ・4代組合長 緑郷3区 川上 裕一 様
- ・当麻町高齢者事業団 理事長 傳里 功 様

JAへの就職希望者100%就職 (令和5年度実績)

令和7年度第3回学生募集

- 定員40名 ●男女共学 ●1カ年 ●寮完備(個室) ●通学制開始
- 受験資格:満27歳未満(令和6年4月1日現在)/大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日:令和7年2月2日(日) ●願書受付:令和7年1月6日(月)~1月24日(金)消印有効
- オープンキャンパス随時開催中

JAグループ職員養成校

令和7年度より
通学制開始



一般財団法人
北海道農業協同組合学校
〒069-0834江別市文京台東町43-1
☎0120-918-417

【JAカレッジ】で検索

当組合ではタブレットでのお取引受付を開始します

令和7年
2月より開始

タブレットで
簡単・便利に

JAバンクでの
お取引を
もっと便利に

JAバンク スマイルナビ

郵便番号
検索すると住所が
自動で表示されるし、
金融機関も検索できて
とっても楽ね！
伝票よりも便利で
入力しやすいわ！



タッチで簡単
お取引！

JAバンクスマイルナビで、大変
だった書類への記入が不要に。
タブレットの画面に沿って必要
事項を入力・選択するだけで、
お取引の受付ができます。*1



複数の書類
記入不要！

複数のお取引でもタブレットなら
署名は一度きり。
続けて入力する場合、2件目のお
取引から同じ内容は自動表示
されるため、入力不要です。*2



カード持参で
自動入力！

キャッシュカードをご持参いただければ、住所等のお客様情報や口座情報が自動で表示され、簡単・便利にタブレット入力が行えます。*3



タブレット画面で
文字が見やすく、
簡単に操作ができて
とっても
便利だぞう

ご利用いただけるお取引

お預入れ ↓ ¥	お引出し ↑ ¥	お振込み ¥
お届け内容の変更 ↻	定期貯金 JA BANK	定期積金 JA BANK
普通貯金等 口座開設 ※原則ご新規の お客様向け	普通貯金等 のご解約	キャッシュカードの 発行・再発行等 JA CASH CARD

*1：キャッシュカードと暗証番号による認証成立を条件に、同一名義で当組合に開設された当座性口座・定期性口座の情報および届出事項の一部がタブレットに表示されることがあります（JAごとに表示される内容は異なります）。詳しくは窓口までお問合せください。

*2：金額等の必要事項の入力等は必要となります。タブレットは一度に最大10件のお取引の入力を続けて行うことができますが、署名は一度きりとなります。また、続けてお取引の入力を行う場合は、一度入力した住所・電話番号などの再入力は不要です。

*3：キャッシュカードはカード表面記載の会員ご本人様のみご利用いただけます。お客様のカードをご家族等がご利用することはできません。また、暗証番号についてもご家族を含めた第三者に開示されることも禁止されています。ご家族名義のキャッシュカードをご希望のお客さまは窓口までご相談ください。

JAバンク 詳しくはお取引のあるJA窓口にお問合せください。 ※一部のJA・店舗ではご利用いただけません。

金融 共済 課 からの お 知 ら せ

JA共済 JAの自動車共済 安心サービスのご案内

ご契約の自動車が事故や故障に見舞われたときは

ご契約のJA(業務時間内)もしくは

安心サービス
(24時間 365日受付)

JA共済事故受付センター ジュハクミアイ 0120-258-931 フリーダイヤル 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。	JA共済サポートセンター レッカー移動サービス クミアイ 0120-063-931 レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合には
---	---

安心の5つのサービス

- レッカーサービス
- ロードサービス
- 夜間休日現場急行サービス
- 夜間休日初期対応サービス
- 休日契約者面談サービス

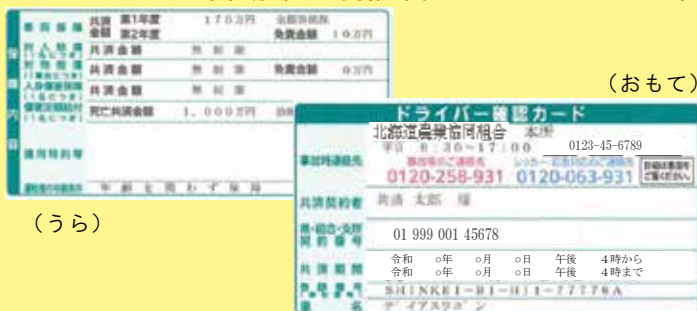
24時間・365日、事故受付とアドバイス、各種サービスが受けられます。

もし 事故が起きたら・・・

<p>なにより 119番</p> <p>まず、被害者の保護を。</p> <p>応急手当、救急車の手配を行ってください。軽いケガや自覚症状のない場合でも、医師に診断をしてもらうようにしましょう。事故車をそのままにしておくと、交通渋滞や後続事故の原因となります。すぐに安全な場所へ避難しましょう。</p>	<p>かならず 110番</p> <p>警察に必ず事故通報を。</p> <p>安全を確保したら、警察への届出と相手方の確認を行いましょ。共済金の請求をするときには、交通事故証明書や医師の診断書などが必要です。そのためにもすみやかな届出が大切です。</p> <p>■警察には次の事項を連絡します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 事故発生の日時と場所。 ② 負傷者の人数とその程度。 ③ 壊したものとその程度。 ④ 事故に対して講じた措置。 	<p>必ず JAへ</p> <p>事故通知をJAへ。</p> <p>警察への連絡後、JAへ詳しい通知、および相談をします。できるだけ現場での状況が的確にわかるよう相手方、目撃者からの確認とメモを忘れずに。</p> <p>■JAへも次の要点をご連絡ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 事故状況・日時・場所。 ② 相手方の住所・氏名・連絡先・傷害の程度・病院名・車両番号。 ③ 目撃者の住所・氏名。 ④ 届出警察署と担当官。
---	---	--

「ドライバー確認カード」を携帯しましょう！

自動車共済証書の下に「ドライバー確認カード」がついています。



(うら)

(おもて)

「ドライバー確認カード」には、事故が起こったときの連絡先や契約の情報が記載されています。

車検証とともに保存なさるか、あるいは、免許証とともにお持ちになってください。

NOU
NEN

一般

知って得する農業者年金

農業者の方は、
国民年金の上乗せの公的な年金「**農業者年金**」
に加入して安心して豊かな老後を！

終身年金で
安心！



ポイント1 農業者なら誰でも入れる「**終身年金**」

ポイント2 一定の要件を満たす方には、**保険料の国庫補助**

ポイント3 税制面で**大きな優遇措置**

詳しくは…

農業者年金基金

検索

<https://www.nounen.go.jp>

令和7年度 JA当麻 野菜集荷場 受入カレンダー

1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

10月


日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

 の印は受け入れ休みとなりますので、ご協力をお願い致します。

施設園芸課 TEL84-3201



作り方

- 種なし柿で蓋を作る。柿をふたと器に切り分ける。器の中身は丸くくり抜いてから4等分に切る。
- カブは皮をむき、厚さ5mmの半月切りにして塩水(分量外)に漬け1時間ほど置く。柔らかくなったなら水気を切る。リンゴは厚さ5mmの半月切りにする。
- ボウルでマリネ液の材料を混ぜ合わせ、(1)の柿の中身、(2)のカブとリンゴを入れて30分ほど味をなじませる。
- (1)の柿の器を置き、(3)のマリネを盛り付ける。(1)の柿のふたとミントを飾り出来上がり。

柿のレモンマリネ

材料(2人分)

- 柿(種なし) …… 2個
- カブ …… 1個
- リンゴ …… 1/2個
- ミント …… 適宜
- マリネ液
 - レモン汁 …… 大きじ2
 - オリーブ油(エクストラバージン) …… 小さじ2
 - 塩 …… 小さじ1/2



シェフ永井のおすすめ

永井智一 (ながい・ともかず)
茨城県笠間市にある「天晴(テンキョウチンテン人)オーナーシェフ」



タテのカギ

- 年賀状をコレからSNSなどに切り替える人も増えました
- サトイモの親芋のまわりにできます
- コートなどに用いる毛織物
- ここではなしていても—があかないから見に行こう
- しんしんと降り積もるもの
- 箱根駅伝は10—、計217.1kmで競います
- さんずい、うかんむりなど
- ほうぎに乗って飛べるとか
- 10を3回かけ合わせると
- 縁起をかついで食べる受験生もいます
- おせち料理に入れる紅白の食材といえば
- チャールズ・チャップリンは—の王様です
- 可燃ではありません

ヨコのカギ

- 宝船の絵を枕の下に入れておくとよい
- 窓を開けて取り込みます
- カード式のホテルもあります
- 中東の国のひとつ。首都はテヘラン
- きねと臼でつくもの
- 「本の虫」と呼ばれることも
- 七草を入れて炊くことも
- 初詣で一年の—を祈った
- 「見通しがきく」ことを願っておせち料理に入れます
- マスカラを付けるところ
- 脊椎動物にはあります
- 「Rがつかない月には食べるな」といわれる貝
- 耳が冷えないようにイヤ—をつけた

1	カ	ン	6	シ	10	ヤ	14	バ	16	イ
	ラ			ナ	ワ	ノ	レ	ン		
2	ス	イ	ガ	ラ			15	イ	ガ	
		7	キ	キ		13	ハ	シ		
3	ホ	ウ			11	イ	チ	ヨ	17	ウ
	4	イツ	ク	シ	マ			ン		
5	ク	シ		12	ヤ	キ	イ	モ		

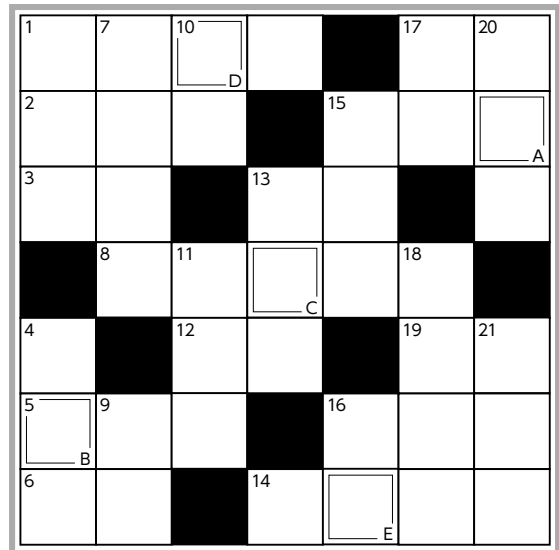
11月号の答えは…

A	B	C	D
ホ	シ	ガ	キ

頭の体操

クロスワードパズル

二重マスの文字を、A～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第6回「東野ひでき北海道後援会の活動経過」について

過去の参議院選挙(比例代表)での危機感を踏まえ、改めて組織選挙の意義を共有の上、候補者の認知度を高め、組織力の結集による運動を徹底することが大切です。

北海道後援会では、JA役職員、組合員、青年部・女性部盟友、各連合会・関係機関など東野ひでき氏の応援の輪を広げていくために、農政学習会等を通じて「なかまづくり運動」を展開してきました。

「ひできのなかまづくり運動」

「ひ」…ひとりでも多く! 「で」…できることから! 「き」…きょうから始めよう!

各々が、応援を依頼する「なかま」を確実に2名以上特定し、さらに、その「なかま」1名につき、新たに2名以上の「なかま」を特定し、「なかま」を広げていきましょう。

令和6年3月29日に東野ひでき北海道後援会を設立して以降、主に以下の取り組みを実施しております。

- JA総会・総代会にて東野の動画映写や組織結集に向けた決議等を実施。
- JA・連合会にて推薦手続きを完了。
- 道連常勤役員・地区会長他によるJA等巡回。
- 東野による全国連・全国機関、都府県連合会・JA等巡回を実施。
- 東野による道内各連合会、関係機関、取引先、JA等巡回(励ます会)を実施。
- 農政学習会の実施。
- 各種資材の活用。
(農政学習教材(資料・動画)、東野ひでき紹介動画、室内掲示用ポスター、リーフレット、運動推進ステッカー、名刺貼付用シールなど)
- JA広報誌での連載と北海道農政ジャーナルの発行。
- SNS(HP、LINE、Instagram、YouTube、Facebook)による活動報告。
- 青年部・女性部による東野ひでき親衛隊「動画大作戦」の実施。(毎月1回YouTube配信)



今後は、上記の取り組みに加え、屋外用政治活動用ポスターの掲示(野立て看板の設置)、東野出席のもと道内12地区の巡回等や、青年・女性組織の道・地区・単組段階での推薦手続き等を実施していきます。

農業・JAを取り巻く厳しい状況下において、JAグループ北海道の政策提案を実現し、組合員の営農と生活を守るためには政治力の強化が極めて重要であります。

農政学習運動等を通じて組織選挙の意義を共有し、引き続き「なかまづくり運動」を広げていきましょう!

【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年まで連載いたします。次回(第7回)は、「業界を代表する候補者を選ぶことの重要性」について報告します。

東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちら



東野ひでき北海道後援会

私たちの暮らしを守る田んぼ

みんな、「田んぼ」って知っているよね。言うまでもなくお米を育てるところだね。田んぼは自然の中にあるけれど、当然、自然にできたものではなく人間がお米を育てるために考え出した「設備」なんだよ。

でもその田んぼがあるおかげで、実は私たちの暮らしにさまざまな影響を及ぼしているんだ。例えば、田んぼにはいろいろな生き物や植物が住んでいる。一説には植物プランクトンなどの微生物から大型の鳥類まで、田んぼでは6000種を超える生き物が暮らしている、といわれているんだ。私たち人間だけでは食べ物がなく、生きていくことはできません。野菜や、牛、豚、鶏、魚といったさまざまな生き物によって支えられているよね。これを「生物多様性」というのだけれども、まさに田んぼでそれが実現できているんだ。

また、田んぼは、激しい雨が降ったときも、川の急激な増水や土砂崩れを防ぐことができるんだ。雨水をゆっくりと地中に染み込ませ、地下水としてしっかりと蓄えるので、「自然のダム」といわれているよ。私たちが飲む水も、水田を経由してダムや川に流れ込んでいるんだ。夏の暑い時期には、田んぼに水が張ってあることで周囲の気温が下がるので、田んぼは「自然のクーラー」ともいわれているんだ。

このように、田んぼは人間が作り出したものだけれども、自然を壊すことなく、むしろ環境を守る役割があることが分かるよね。そういった役割も世界から認められて、日本では、4カ所の水田地域が「世界農業遺産」に登録されているんだ。

お米を育てるだけでなく、さまざまな役割を持っている田んぼだけれども、みんながお米を食べないと田んぼは減る一方。みんながお米を食べることは、自分たちの住む環境を守ることもつながるんだね。

五ツ星お米マイスター ● 小池理雄

年末・年始の営業について

年末年始の営業を下記の通りとさせていただきますので、宜しくお願いいたします

	業 務 納 め	業 務 初 め
本 部 事 務 所	12月30日(月)	1月6日(月)
金 融 関 係	12月30日(月)	1月6日(月)
現金自動預払機(ATM)	12月30日(月)	1月6日(月)
資 材 事 務 所	12月30日(月)	1月6日(月)
給 油 所	12月31日(火) 8:00~12:00まで営業	1月4日(土)~7日(火) 8:30~17:00まで営業

施設園芸課からのお知らせ

令和7年度の共同育苗苗（野菜・果実）の申し込みについて

令和7年度共同育苗苗の申込書につきましては、既に部会員の皆様を対象に配布しております。申込期限については12月25日（水）迄となっておりますので、まだ申し込みをされていない方は種子注文等ありますので、お早めに施設園芸課までご提出願います。

また、新たに部会加入される方は施設園芸課にて加入手続きとその要領を理解していただき、苗の申し込みをお願いいたします。

一般苗の申し込みについては1月14日（火）からとなっております。部会品目の苗生産時期以外や余力スペースにて生産いたしますので、ご希望に添えない場合もありますので、ご理解いただき、印鑑持参の上、施設園芸課までお申し込み下さい。



編集後記

◆あけましておめでとうございます。昨年は、お忙しい中、取材に協力頂いた皆様に心よりお礼申し上げます。今年もご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

◆今年の干支は巳年（へびどし）です。蛇は古来より豊穡や金運を司る神様として祀られることもあり、神聖な生き物として認識されてきました。脱皮をする蛇のイメージから巳年は「復活と再生」を意味します。植物に種子ができればはじめる時期、次の生命が誕生する時期など、新しいことが始まる年になると言われています。また、「巳」を「実」にかけて「実を結ぶ」年とも言われています。組合員皆様のご努力が実を結び、豊かな収穫をもたらすことを心より願っております。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

（谷口）

JA当麻 No.651

発行日 令和7年1月

発行 当麻農業協同組合

編集 管理部総務課

住所 上川郡当麻町4条

東3丁目4番63号

電話 0166-84-2121

JA当麻ホームページ

URL <http://www.ja-tohma.com>